



2008/09 WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区 B

市原ロータリークラブ会報



第 2200 回例会 2009 年 2 月 21 日(水) SAA / 常澄会員

例会場 五井グランドホテル 市原市五井 5584 - 1 事務局 TEL 0438-38-3535

< 琴を聴く & 初笑い 2200 回記念例会 > 淡粋にて

点 鐘 市原 RC 会長 藤谷泰弘

お客様 南山会員令夫人

会長挨拶 市原 RC 会長 藤谷泰弘



こんばんは。南山さんの奥様、お出でいただきありがとうございます。最初に 2009-2010 年度(千葉さん、泉水さん年度)の国際ロータリーテーマが、ジョン ケニー R I 会長エレクトから発表されました。

「The Future of Rotary Is in your hands」

「ロータリーの未来はあなたの手の中に」です。

ところで今日は市原ロータリークラブ第 2200 回例会です。創立から 44 年 7 ヶ月経過しました。当クラブの伊藤さんと長田さんがお生まれになった年に一緒に産声をあげました。お二人には益々ご活躍いただけるものと思っております。今日は 2200 回ですので、若干でも記念になる例会をと考えました。最初に琴の演奏をお聴きいただきます。聴いたことのある方は「とにかく素晴らしい」とおっしゃいます。30 分の演奏ですが、清々しい気持ちになれると思います。その次に、お笑いのシナトラ(志那虎)さんに登場していただきます。笑いはこころの健康に大いに役立ちます。「大笑いをして胸のつかえが取れた」とか「悩みを笑い飛ばす」という表現があります。楽しくて笑えばさらに楽しくなってきます。感情が表情を生み、表情が感情を生むからです。この相互の感情は怒りなどの感情も同じで怒れば怒るほど益々腹が立ってくることにあります。

腹が立ったときその怒りの感情をぐっと我慢すれば静まってくるといいます。試してみる価値があります。結局、自己制御が出来るかどうかで、穏やかでいられるか、感情的になってしまうかが決まるようです。なにとはもあれ、琴の演奏で感動していただき、さらに大笑いをしてしていただければ、それで充分と思っております。



乾杯挨拶 齊藤博 P.G

雅な琴の音のあとですが、誠に僭越ながらご指名によりまして、乾杯の音頭を採らせて戴きます。

市原ロータリー・クラブの創立は 1964 年・昭和 39 年 6 月 13 日、29 名のチャーター・メンバーで発足致しました。

当時のガバナーは江東楽天地の社長神守源一郎氏、当クラブ会長宮吉長門氏、副会長浜田金平氏、チャーターメンバー 29 名で発足致しました。

以来 45 年間、例会場も、旭ガラス、出光興産、イトーヨーカドー、姉崎ロイヤルホテル、五井グランドホテルと変わり、2200 回例会を継続して参りました。

誠に慶ばしいことをごさいます、先人のご苦勞を偲びクラブの弥栄(いやさか)を祈念して、杯を挙げたいと存じます。

ご唱和願います。乾杯！



篠田親睦委員長

